

一步先のサービスを迅速に実現する 課金・レーティングシステムGeneva™

ブロードバンドの加速で、通信キャリア・ISP・IDC・ASP・コンテンツ事業者は、「サービスの拡充」が緊急課題となっている。しかし課金の仕組みとサービス体制を迅速かつ同時に整備するのは難しい。コンバージェスが提供するGenevaは、基本的な課金機能を持つアプリケーションで、他システムと連携させることで、迅速なサービスの立ち上げを支援する。

- PART 1 会社紹介
課金システムで世界をリードするコンバージェスの概要
- PART 2 製品紹介
コンバージェスが提供する「次世代フレームワーク」の魅力
- PART 3 ユーザー事例
実例が示すコンバージェス製品の導入効果

通信キャリアやISPにとって、料金の安さはもはや差別化要因ではなくなった。利用者を惹き付けるのは、IP電話やストリーミングなどの高付加価値サービスだ。サービス拡充を目指し、他社との協業を進める事業者も多い。

事業者側は、例えばコンテンツ配信なら従量制というように、利用者のメリットを考慮して収益を高める必要がある。利用者とWin-Winの関係を築き、ビジネス拡大を実現するには、契約形態や収益性を考慮して課金システムを迅速に整えなければならない。

こうした課題を解決するのが、コンバージェス・ブロードバンド・ジャパンが提供する製品群だ。その体系は、次の3

つに分かれている。

レーティングや課金といったコア機能のモジュールである「Application Modules」群

課金システムと加入者プロビジョニング、メディアーションおよび業種に必要なモジュールを事前にインテグレートした「Application Suites」群

ワイヤレス事業者やCATV、衛星通信プロバイダーなど業種特化型の「End to End Products」群

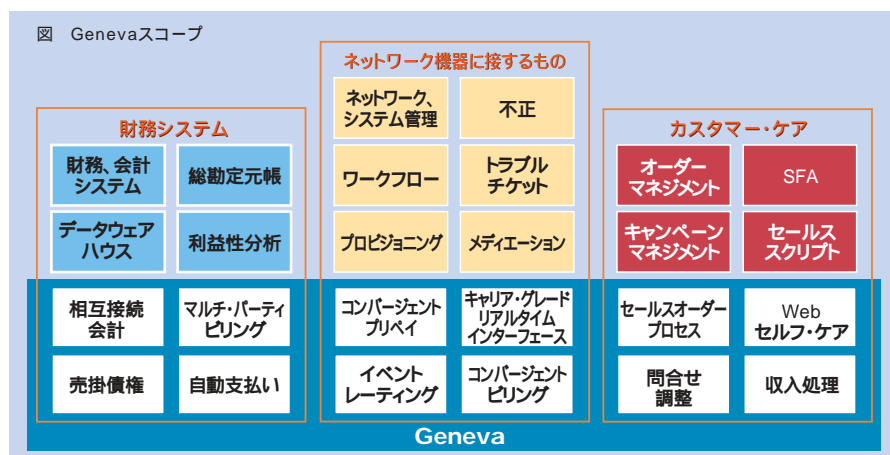
中でもApplication Modulesの中核製品Genevaは、同社ソリューションの根幹を担うレーティング・ビルディングシステム。事業者の区別なく導入できることに加え、オープンなAPIを備えているの

で他システムと簡単に接続できるのも特徴だ。技術本部の鶴木昌行マネージャーは「新サービスの立ち上げと課金システムの構築を迅速に実現できる心強いソリューションです」と語る。

次世代ビジネスの重要基盤に

Genevaの主な機能は、会計システムとの接続や自動支払いなど「財務系」、イベントレーティング/ビルディングを実現する「ネットワーク管理系」、Web上のセルフケアや収入処理を実行する「カスタマー・ケア系」の3種類。

現在、インフラ系のブロードバンド接続サービスは安価な定額料金で提供されている。しかし鶴木マネージャーは「次世代のブロードバンドビジネスの収入の増加は、コンテンツやストリーミングなどの付加サービスに移行していく」と断言する。コンテンツ系サービスでは、従量課金制、パートナー決済などこれまでと異なる課金体系が必要になる。また課金の分野では、ISPが複数の仮想ISPに対して課金サービスを提供することも必要になる。Genevaは、こうした次世代サービスにいち早く対応していくための重要な基盤といえるだろう。



Convergys, Geneva,およびコンバージェス社ロゴは、コンバージェス・コーポレーションの商標です。